

合計 100 点 (配点は予想値)

I.

【解答】 [12 点(各 2 点×6)]

(A) away[ahead] (B) janitor (C) knelt[kneeled] (D) hold (E) flew (F) ends

【解説】

- (a) fire away (話しにくいことなどを)思い切って話す
fire ahead どんどん話し始める
- (b) janitor 管理人
- (c) kneel down 膝を曲げる
- (d) hold A to B A(人)に B を守らせる
- (e) fly 駆けつける
- (f) tie up loose ends (やりかけの仕事などを)仕上げる

II.

【解答】 [10 点(各 2 点×5)]

(1) B (2) D (3) C (4) D (5) B

【解説】

- (1) send for A A を呼びに行かせる
- (2) have it in for A A に恨みを持っている
- (3) in a little while しばらくすれば
- (4) out and about (元気になって)外に出られるようになって
- (5) bamboo shoot タケノコ

III.

【解答】 [18 点(各 3 点×6)]

(1) C (2) B (3) D (4) A (5) C (6) D

IV.

【解答】 [14 点]

問1. (1) our world (2) (countless thousands of) novel substances [6 点(各 3 点×2)]

問2. D [4点]

問3. 3 [4点]

【解説】

問1.

(1) 「どれほど急激に現代世界がプラスチックに変わっているのか」

(2) 「数千とも数万とも知れない新しい種類の物質を自然環境へと放った」

問2. 「それ(環境保護団体の活動)は妥協と現実世界の対立に立ち向かう意欲をも示していた」 空所[D]直後の第4段最終文で、環境保護団体の活動の具体例が挙げられている。そこでは、DDTがマラリアを征圧するのに重要であり、したがって、農業でそれを使用することに関する国際的規制は蚊の生息数を抑えるのにそれを用いることを必要な限りで認めており、それはそのような環境保護団体も支持していることが述べられている。したがって、当該文は空所[D]に入れると文意に合う。

問3. 「多くのものは最初は完全に無害に思われる。しかし、地上でも海中でもそれが食物連鎖に入ると事態は全く異なるのである」 空所< X >直前の第3段第2文で、「人間は地球上にこれまで存在しなかった無数の新しい物質を開発し、それを自然環境の中に放っている」と述べられている。この文における「無数の新しい物質」を選択肢3の‘Many’が、また空所直後の同段最終文で‘Some’がそれぞれ受けている。なお最終文は、「人間が作る有毒物質の中には…自然的に発生するものもあるが、人間の活動によってそれが他の生物や最終的には人間自身にとって潜在的に壊滅的な方法で凝縮される」という意味で、当該文との文脈的な繋がりも良い。

V.

【解答】 [32点]

問1. (a) 4 (b) 1 (c) 3 (d) 2 [8点(各2点×4)]

問2. (1) 1 (2) 3 [4点(各2点×2)]

問3. 女性をきちんと扱って雇用の機会を与えれば、出生率が下がるということ。 [6点]

問4. 3 [4点]

問5. アメリカにおけるAIDS患者の数が1995年までに約27万人に上るだろうという予測は、あまり適切ではなかった。というのは、残念ながら、その予測値は低すぎたからだ。
[10点]

【解説】

問1.

(a) result from A Aに由来する

- (b) be concerned about A A を心配している
- (c) population projections issued by the United Nations 国連が出した人口予測
* issue ~を公表する
- (d) AIDS cases diagnosed in the United States 合衆国で診断された AIDS 患者
* diagnose ~を診断する

問2.

- (1) culprit 問題の原因 [= cause]
- (2) myriad 無数の [= innumerable]

問3.

[基準] 6点 [①配点せず ②3点 ③2点 ④1点]

- ① 直前の第4段第5文中の that 節の内容をまとめる。
- ② 女性をきちんと扱って雇用の機会を与える
- ③ ②の結果, 出生率が下がる
- ④ 説明問題なので, 解答文の最後に「~すること」などの文末処理をする。
- ⑤ 誤字, 単語の誤訳, 判読不能な語, 日本語として不自然な表現などは, それぞれ1点ずつ減点する。

問4.

1. 「1940年代に, ロンドンの街路は9フィートの馬糞の下に埋もれていた」 第2段第1~3文で, 1894年に Times 誌で述べられたその様な予想は「およそ10年後にヘンリー=フォードが T 型車¹の試作品の生産を始めたので, そのような危機は避けられた」と述べられている。したがって, 本文に一致しない。
2. 「ウィリアム=ペティ卿は産業革命が起こると正しく予測した」 第3段第2~5文で, ペティは17世紀の人口増加が緩やかであることは正しく予測していたが, 彼の予測から出てくる世界の人口は2012年に7億人を超える程度であろうという見積もりは, 産業革命による急激な人口増加を予見できなかったために間違っていることが述べられている。したがって, 本文に一致しない。
3. 「ポールとアン=エールリッヒは, 1970年代に飢餓が蔓延すると予測した」 第4段第1文で, 「ポール R. =エールリッヒと妻のアン=エールリッヒは…何億人もの人々が1970年代に餓死するだろうと間違って予測した」と述べられている。したがって, 本文の内容に一致する。
4. 「外挿法²は人口増加の研究分野では問題を生じることほとんどない」 第3段第1文で, 「外挿法は人口増加に関する予測がいくつか失敗した原因ともなっていた」と述べられている。したがって, 本文に一致しない。

¹ 20世紀初頭に開発・販売された世界最初の量産車。

² ある既知の数値データを基にして, そのデータの範囲の外側で予想される数値を求めること。

5. 「1980年に世界では AIDS 患者数は 99 人しかいなかった」 最終段第 2 文では、「世界で」ではなく「アメリカで」と限定している。したがって、本文に一致しない。

問5.

[基準] 10 点 [①③⑤各 2 点 ②3 点 ④1 点]

- ① NP1 would not have been NP2; M1 NP3 was too low. : 「NP1 は NP2 ではなかっただろう。M1 で NP3 は低すぎた。」 後半の節は前半の節の理由を表しているのので、「～だからであった」と訳してもよい。
- ② NP1 = This : 「アメリカにおける AIDS 患者の数が 1995 年までに約 27 万人に上るだろうという予測」 最終段第 4 文の that 節の内容をまとめる。
- ③ NP2 = a very good prediction : 「あまり適切な予測」 ここでの very は否定文で用いられているので、「あまり～しない」と訳す。「非常に」と訳した解答は不可。
- ④ M1 = unfortunately : 「残念ながら」
- ⑤ NP3 = it : 「その予測値」 NP1 の This と同じものを指している。ただし、設問文で「その内容が分かるようにして」とあるので、「それ」と訳した解答は配点しない。
- ⑥ 誤字, 単語の誤訳, 判読不能な語, 日本語として不自然な表現などは, それぞれ 1 点ずつ減点する。

[略字]

NP	[noun phrase]	名詞句
M	[modifier]	修飾語句

VI. (14 点)

【解答】

Touching upon your family is pointless, because you speak in a proud manner, in a complaining manner or with a sense of dissatisfaction and go nowhere

【総評】

全体的に、語法・文法領域の問題が例年にも増して難しかった。特に大問 I～III は半分ほど出来れば十分であろう。また、VI もそのまま英語にしにくい表現が含まれているので、他の日本語表現に置き換えてから訳出することが必要である。しかし、IV と V の読解領域の問題は確実に得点できる。要は、この 2 つの問題がどれほど完全に答えられているかにかかっていると見えよう。